

練馬区プレスリリース 送付日 2016年8月10日

区長室 広聴広報課 広報戦略係 電話 03-5984-2693

事前のお知らせ

Yori
Dori
Midori
よりのどりのどりのどり

戦後71年 石神井公園ふるさと文化館 講演会 「成増陸軍飛行場～残された秘蔵写真」を開催します！

と き 平成28年8月21日(日) 午後2時～午後4時

ところ 練馬区立石神井公園ふるさと文化館(練馬区石神井町5-12-16)

区は、21日、区立石神井公園ふるさと文化館(石神井町5丁目)で、歴史・民俗・自然など、様々なテーマで行うふるさと文化講座「成増陸軍飛行場～残された秘蔵写真」を開催します。(入館・観覧無料)

当講座は、戦時中、現在の練馬区光が丘一帯にあった成増陸軍飛行場(以下、飛行場)についての講演会となっており、飛行場を本拠地とした「帝都防空・飛行第47戦隊」の元隊員から提供のあった秘蔵写真や、関係者からの聞き取り調査などをもとに、近隣の方々との関わりや特攻隊による防空戦闘の様子を紹介します。

ぜひ、当日の様子を取材していただきますようお願い申し上げます。



▲ 昭和19年10月新規入隊員記念写真(一楽節雄氏蔵)

【イベントの概要】

講師：山下 徹 氏(郷土史家・カメラマン)

参加費：無料

定員：100名(抽選)

申込：事前申込(往復はがきにて講座名、住所、参加者氏名(2名まで)とふりがな、電話番号を記載し、『〒177-0041 石神井町5-12-16 石神井公園ふるさと文化館』まで。8月13日必着。)

【参考】講師：山下 徹 氏(郷土史家・カメラマン)

板橋区生まれ、板橋区育ちの郷土史家で、カメラマンとしても活動しています。仕事の傍ら、10年ほど前から全国各地で行っている「成増陸軍飛行場」についての実地調査をはじめ、その成果を映像にまとめるなど研究を進めています。



▲ 山下 徹 氏

【参考】成増陸軍飛行場について

帝都防空を目的として現在の練馬区光が丘一帯に建設された陸軍基地。

昭和17年(1942年)4月18日に米空母から出撃した爆撃機により東京が初空襲を受けたことで急きょ、建設が決められました。①高松町一帯は大地主が多く、土地が平坦で人家が少なかったことや、②新川越街道沿いに軍事施設が点在していたこと、③冬には麻布3連隊や騎馬隊の演習場としても使われていたこと、④皇居上空まで3分以内で到達可能なこと、が候補地としての決め手となり、昭和18年10月には戦闘機の発着ができるようになりました。

終戦後はアメリカ軍の家族住宅「グラントハイツ」となった後、現在の光が丘地区となりました。



▲ 待機中の特攻隊・震天制空隊機(手前)(伴了三氏蔵)

【問い合わせ】 区立石神井公園ふるさと文化館 ☎03-3996-4060